

住民情報システムの標準化に伴う特定個人情報保護評価の再実施に対する意見内容と区の考え方

ご意見（全文）	区の考え方
<p>現在の日本は技術面で先進国からは遠い位置になるのは明らかなので、システム構築の技術的な面での信頼性にも疑問がある。それ以上に、根本的な問題として、政府に対する信頼度が著しく低い現状を考えると、多くの情報を紐づけて預けることには大きな抵抗がある。可能な限り、情報の一本化は避けるべきだ。</p>	<p>住民情報系システムの標準化に際して区が利用する、「ガバメントクラウド」については、「ISMAP」と呼ばれる第三者認証を取得したクラウド事業者を利用することになります。認証の継続のために継続的な外部監査を受けており、十分に信頼のおける事業者が利用されています。また、住民情報系システムの標準化は、データを一本化するものではなく、従来どおり、事務ごとに使用するデータは分けて管理します。</p> <p>システム標準化後においても、引き続き情報セキュリティを維持するために、ログの管理や委託事業者の監督など、区としても適切な対応を行ってまいります。</p>